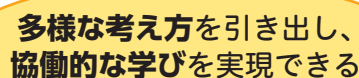


「Let's Try」では、生徒の生活に身近な題材も多く取り上げられています。



側注で問題解決のプロセスを
意識することができます。



**学習指導案例で
具体的な授業の流れが
イメージできる**



学力調査や高校入試などに
生徒がどの程度
対応できるか心配です。

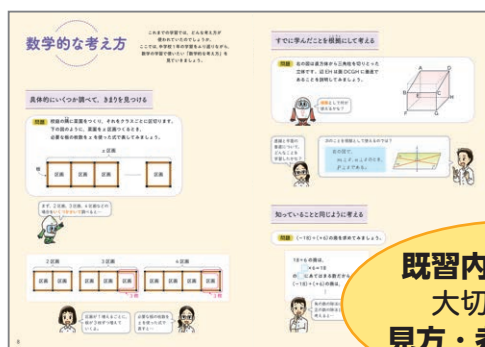
未知の問題を解決する力が
育てられる教科書の
しくみはありますか？



各学年の巻頭「数学的な考え方」や本文の側注には、問題解決で働かせてほしい数学的な見方・考え方を系統的に示しています。また、生徒が自ら？や！を見いだすことを通して、思考力・判断力・表現力を育成し、問題解決に生かせるようにしています。



教科書



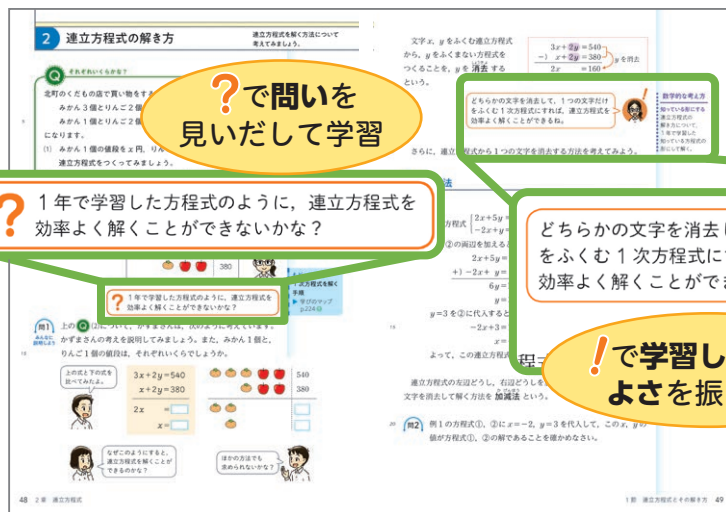
小中
連携

既習内容をもとに
大切にしたい
見方・考え方を紹介

令和 6 年度版『小学算数 6』



小学校算数の教科書とも
連携しています。



？で問いを
見いだして学習

？ 1年で学習した方程式のように、連立方程式を
効率よく解くことができるかな？

？ 1年で学習した方程式のように、連立方程式を
効率よく解くことができるかな？

どちらかの文字を消去して、1つの文字だけ
をふくむ1次方程式にすれば、連立方程式を
効率よく解くことができるね。

！で学習したことの
よさを振り返る

数学的な考え方
知っている形にする
連立方程式の
解き方について、
1年で学習した
知っている方程式の
形にして解く。

働かせた
見方・考え方を
側注で顕在化

④ 朱書編



ひと言メモ

？や！を活用した授業づくりのポイント

授業を構想する際には、まず、「授業を通して生徒にどんな！(学習したことのよさ)を見いだしてほしいか」を考えることが必要です。そのうえで、「！を導くために必要な？(生徒の問い)や学習活動を構想していく」ことが大切です。

指導書朱書編には、それぞれの？や！について留意点を掲載していますので、ぜひこちらも授業づくりにお役立てください。

② ？の留意点

1年で学習した1元1次方程式の解き方を振り返り、それに帰着して解けないかを考えるきっかけにしたい。

④ !の留意点

④ p. 48の連立方程式の解き方を振り返り、 x 、 y それぞれの値を求めるために、どちらか一方の文字だけを含む方程式をつくらせていることをおさえる。1元1次方程式の解き方は1年で学んでいる。連立2元1次方程式を1元1次方程式に帰着させると既習の1元1次方程式の解き方で解を求めることができるよさを確認したい。

生徒の問題解決
？
！
授業の構想



テスト以外にも様々な方法で
学習評価を行いたいと
思っているのですが…。

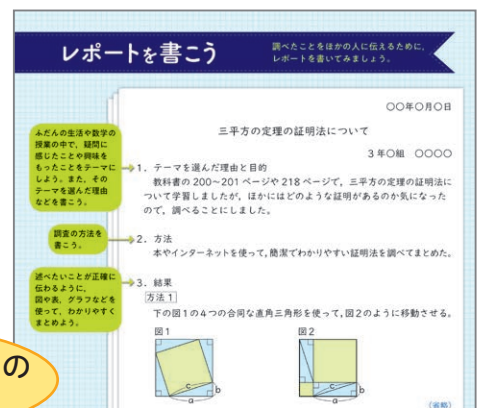
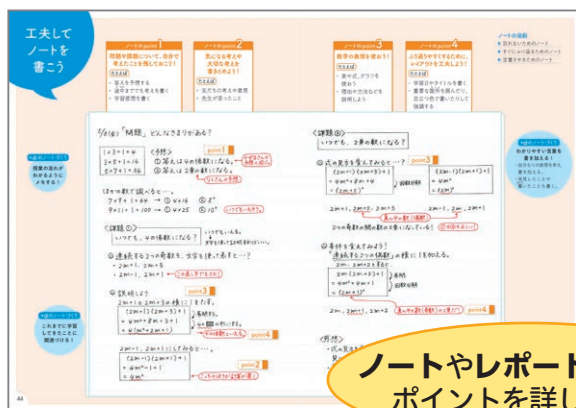
**思考力・判断力・表現力や
主体性**を評価できる方法には
どんなものがありますか？



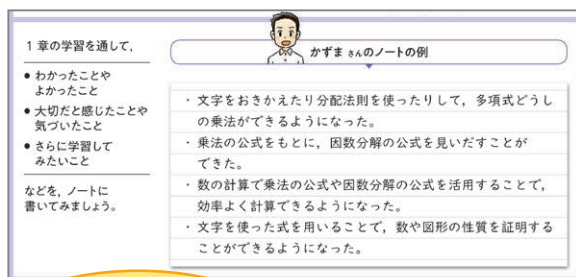
ノートやレポート、学習感想など、評価の材料はたくさんあります。
教科書には、それぞれの模範的な書き方を例示しています。
また、評価の際には、指導書研究編の評価規準例もご活用ください。



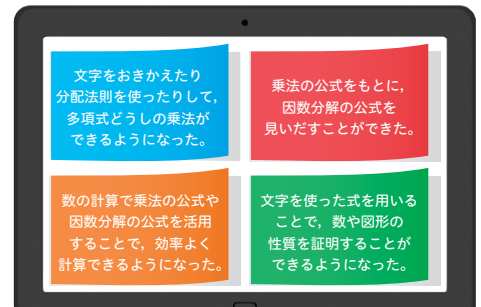
教科書



ノートやレポートづくりの
ポイントを詳しく紹介



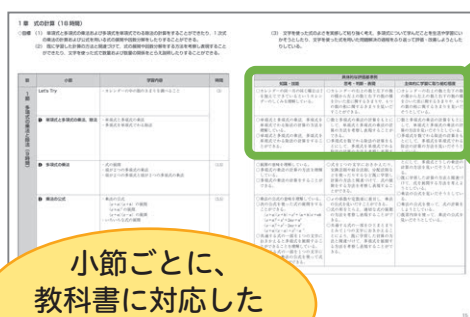
学習感想で
思考力や表現力を
評価できる



授業支援ツール等を使って
学習感想を共有することも有効です。

ICT 活用

研究編



小節ごとに、
教科書に対応した
評価規準例を掲載

知識・技能	具体的評価基準例	
	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○カレンダーの同一月の同じ曜日は7を加えてできているというカレンダーのしくみを理解している。	○カレンダーの右上の数字と左下の数字の積から左上の数字と右下の数字の積をひいた差に関するきまりや、4つの数字の和に関するきまりを見いだそうとしている。	○カレンダーの右上の数字と左下の数字の積から左上の数字と右下の数字の積をひいた差に関するきまりや、4つの数字の和に関するきまりを見いだそうとしている。
○単項式と多項式の乗法、多項式を単項式でわる除法の計算の方法を理解している。	○数と多項式の乗法の計算をもとにして、単項式と多項式の乗法の計算の方法を考察し表現することができる。	○数と多項式の乗法の計算をもとにして、単項式と多項式の乗法の計算の方法を見いだそうとしている。
○単項式と多項式の乗法、多項式を単項式でわる除法の計算をすることができる。	○多項式を数でわる除法の計算をもとにして、多項式を単項式でわる除法の計算の方法を考察し表現することができる。	○多項式を数でわる除法の計算をもとにして、多項式を単項式でわる除法の計算の方法を見いだそうとしている。

評価規準例は
ウェブサイトでも
ご覧いただけます。



教育出版

発行 教育出版株式会社
代表者 伊東千尋

発行所 〒135-0063 東京都江東区有明 3-4-10 TFT ビル西館
教育出版株式会社 TEL: 03-5579-6278(代表)

本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則り、配付を許可されているものです。